



佐久市立望月小学校
学校だより



令和4年(2022年)

11月8日(火)

(担当：校長)

「なかよし旬間」校長講話の感想とジャンプ問題の答え・・・紹介

10月24日(月)から11月4日(金)までなかよし旬間を行いました。各学級はなかよしのめあてを振り返ったり、命の駅伝メッセージを読んで「**自分ができることは何か**」考えたりしました。また、姉妹学級で交流をし、楽しい活動を通して絆を深めました。

そして校長講話では「**いじわるや仲間外れなど苦しみや悲しみをこえる生き方を考える**」をテーマに「花咲かじいさん」のお話からおじいさんの生き方を考えました。

その感想を紹介します。

おじいさんは、「**人を幸せにできる人だな**」と思います。

理由は、犬を殺されてもとなりのおじいさんをせめたりしないし、白を燃やされても、その灰を使って花を咲かせて、お殿様を喜ばせたりできるからです。

(5年 さん)



→ 気づいたことだけでなく、最初に結論を述べ、後で理由を言っているところがいいですね。

僕は、花咲かじいさんが文句を言わなかったのは、**終わったことに文句を言っても悲しくなるだけ**で、しょうがないからと考えるからと思いました。

大切な灰でお殿様を喜ばせたのは、ポチが死んだのを**ずっと嘆くよりかそれを使って人を喜ばせたほうがポチもお殿様も喜ぶから**と考えます。

(5年 さん)



→ おじいさんの行動を自分なりの考え方で分析しているところがいいですね。

私は花咲かじいさんの**優しさやいろんなものを大切にできる凄さ**がわかりました。隣のおじいさんに自分の大切なポチを殺されたら木を植えてポチを大切にできるし、白を燃やされても灰を大切にできるし、「何でも大切にできるんだな」と思いました。

私もそんな**なんでも大切にできる人間になりたい**です。

(6年 さん)



→ おじいさんの行動から「私もそんななんでも大切にできる人間になりたい」と決意しているところがいいですね。

おじいさんの、生き方は僕にとって、すごい参考になりました。たまに僕は、おじいちゃんが死んでしまったから家に帰る時・・・

「おばあちゃんは死んでしまっているのではないか」とたまに考えてしまいます。

でも、今日話を聞いて、もし死んでしまったとしても、**落ち込まないで、前向きに生きていこう**ということを教えられた気がしました。



(6年 さん)

→ いつか必ず、誰にでも訪れる別れに対して「落ち込まないで前向きに生きていこう」と考えたところがいいですね。

共有問題：お話の感想を伝え合いましょう

おじいさんの行動
3つのポイント



- ①かわいがっていたポチを殺されても**文句を言わず**、ポチのお墓を作り木を植えて**大切に**育てた。
- ②大切な白を燃やされても**文句を言わず**、残った灰だけでも**大切に**しようとした。
- ③灰で枯れ木に花が咲くことを知ると、**大切な灰を使ってお殿様を喜ばせよう**とした。

ジャンプ問題
おじいさんの行動(生き方)をどう思いますか。
(自分の体験を振り返って考えてください)

毎日、**日記を書くことで、楽しさを見つけられる**ということは、「確かにそうだな」と思いました。

私も毎日、日記を書いていると、後で読み返した時に、「**この日はこんなことがあったんだあ、楽しかったなあ。**」と色々な楽しさを見つけられました。それに、日記を書かないより、毎日書いた方が、書く力が上がると思います。

ジャンプ問題の答えは、おじいさんは何かにやられても、やり返さないところが、いいなあと思いました。**苦しかったり、悲しかったりした時でも、いつも前向きな気持ちでいてすごいな**と思いました。そして、「おじいさんはとってもやさしいなあ」と思いました。**このおじいさんの生き方が、苦しみや悲しみをこえる生き方だ**と、私は思いました。



(6年 さん)

→ 友だちの考えに「確かにそうだな」と思いながら、日記を書くことのよさを自分の体験からも感じているところがいいですね。また、おじいさんの生き方が「**苦しみや悲しみをこえる生き方だ**」と、自分なりの答えを見つけました。

「いのちの駅伝」から



開会の言葉を話すさん



子ども会を代表して命の駅伝メッセージを伝えるさん



学校を代表してあいさつするさん

さんの代表あいさつ

「いのちの駅伝」は、「1997年4月に望月で起こった悲しい出来事を、2度と繰り返さないことを誓って、『いじめ』や『差別』をしない・許さない決意を地域に呼びかけたい」という願いで始まったと聞きました。最初は「望月解放子ども会」の会員のみでの駅伝でしたが、「地域の小学校や中学校にも願いを届けたい」と、地域全体に願いを届けるようになったそうです。

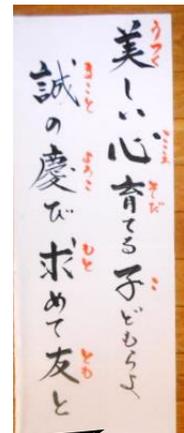
僕も「いのちの駅伝」の話を聞いて、「**いじめや差別は人を苦しめる。だから絶対に許してはいけません。**」という気持ちを地域に届けたいという思いになりました。

望月小学校では、なかよし旬間に姉妹学級の人と交流したり、児童会主催のもちっこ祭りでは縦割り班の友だちとお祭りを楽しんだりしています。そして、いじめや差別のない学校を目指しています。

この「いのちの駅伝」に参加しているすべての人たちが、いじめや差別に対しての思いがあると思います。**その思いを大切にして学校や地域に願いを届けていきたい**と思います。



参加者の記念写真



駒の子短歌：「美しい心」「誠の慶び」とは人が嬉しいことが自分も嬉しいという心のあり方